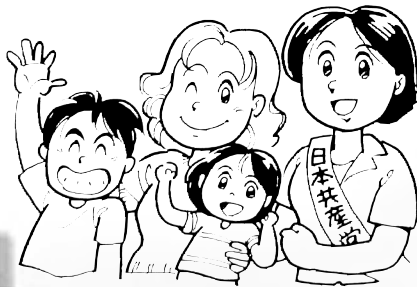


『公報』をごらんになりましたか!?

子どもたちを守りたい一心で

3月11日の大震災、そして翌日の福島原発事故。私は、いてもたってもいられず、放射線測定器を購入しました。「子どもたちを守りたい」の一心で、毎日、市内の放射線量を測って歩き続けました。こわごと測定器の数値をのぞきこむ母子の顔が忘れられません。

この、ひたちなか市から「原発ゼロ」の発信を。暮らし、福祉が大切にされる政治を—これが私の信念です。



『原発ゼロ』への流れを大きく

日本共産党

東海の村上村長は、「老朽化した東海第2原発は廃炉にすべき」と細野原発担当大臣に意見表明。私は、村長の勇気ある発言を応援し、「原発ゼロ」の社会をめざします。

主張しているのは

日本共産党の女性議員だけ

東海第2原発の再稼働許さず、廃炉を